

埼玉県租税教育推進協議会 会長賞

受け繋いでいけるように

豊岡中学校 三年 廣田 実穂

私は、税についての作文を書こうとして、普段気にする事のない税について考えてみました。みなさんにとっての税は何ですか。税と言うと、消費税や所得税、法人税などが一番思いつくと思います。この三つは全て、国の収入となります。しかし、国だけでなく、県や市町村といった地方税などもあり、現在は約五十種類もあります。なぜ、そのように種類を増やしてまで税を集める必要があるのか、どのように使われているのでしょうか。

そもそも、豊かで安心した暮らしができるように公共サービスを行っていますが、必要な費用は、国民が納めている税金を使っています。ですが、私は詳しく知りませんでした。調べてみると、主に三つである一般歳出、地方交付税交付金等、国債費に使われるようですが、中でも社会保障が一番使われています。社会保障とは、医療、年金、介護、福祉などの安心して生活していくために必要な公的サービスの事です。少子高齢化が進んでいる日本では、老後の生活の為に費用が増え、社会保障が一番税金が使われていると私は考えます。では、少子化している子どもに使われている税金は、どのようなものでしょうか。私達、小中学生に対する一人当たりの年間教育費負担額は約百万円。国の支出より五パーセントの割合で使われているそうです。社会保障は、これの六倍も使われています。

確かに医療の充実は大切です。これは、社会保障に含まれます。ですが、調べていくにつれてその費用を負担する働き手が減っていること、少子化している中、将来を担う働き手となるのは私達のような児童、生徒、学生などの、子ども達であることに変わりはない事に気がつきました。なので、より私達のような子どもでも、税について理解し、小中学生の教育費は税によって負担してもらっているから、教育が受けられていた事。働き手となった時に、今まで税金を納めてくれていた人に感謝し、より良い暮らしや、高齢者、子どものためにきちんと納める事。それ以外にも、いろいろな事を理解し、将来を担う若者とならなければいけない。そのために理解する必要が子どもにもあると思います。また、大人の方々には、将来を担う事になる若者の為や、今まで税を納めてくれた高齢者の為、自分達がより良く暮らす為に理解して納めてほしいと思います。

私は、この作文を書く前は税について詳しく知りませんでした。調べたものも、ほんの一部かもしれませんが、私達がよく理解し、将来の担い手とならなければいけない事を知りました。税を納めている方々へ。小中学生が教育を受けられる場を作ってください、ありがとうございます。この作文を読んでくださった方へ。少しでも税に興味を持ち、理解してくださると嬉しいです。私達が将来の担い手となり、受け繋いでいけるように。